

# ～プログラム～

## 第53回西紀中学校文化祭



# 光輝燦然



～ 集け クラスの絆! Power of smiles!! ～

### ～ 午前の部 ～

☆オープニング (8:30～) 生徒会役員

☆開会式 (8:40～)

開会のことば	生徒会長	堂岡 拓真
生徒代表あいさつ	文化委員長	立川 幸樹
学校長あいさつ	学校長	細見 博文



☆舞台発表☆

【演劇コンクール】(8:50～)

1年A組 「色づいた『さよなら』」 (川崎ひかる/作 晩成書房)

過去のある出来事から、自分の感情を失くしてしまった亜嵐。その亜嵐が、自分の感情たちと出会います。感情たちと触れ合う中で、自らの過去と向き合い、克服していくストーリーです。さよならの意味を伝えるために、一回一回の練習に全力で取り組んできました。私たち1年A組は一つ一つのセリフを大切に、感情をこめて頑張ります。

2年B組 「コンピューターランド オブ オズ」 (中西のぞみ/作 星雲書房)

昔、ドロシーたちが悪い魔女を倒して平和になったオズの国。二十一世紀になり、コンピューターに管理される世界に。そんな世界に迷い込んだ7人の子どもたち。夢を持つことが許されない世界で、自分の夢を守る戦いが今始まる。「自分の夢を叶えるのは魔法ではなく、自分自身の力である。」2Bが贈る夢をあきらめないドタバタ劇。

2年A組 「棄権」 (小野川洲雄/作 晩成書房)

体育祭の競技である「男子マラソン」の選手が決まらず口論になっている2年A組。皆が好き勝手に話を進め、バラバラになりそうになっている。挙句の果てには、競技を棄権してしまおうという意見も出てきて…。2年A組は、一体どうなってしまうのでしょうか…。

3年A組 「15の証」 (赤井敏博/作)

あきは、西紀中学校ラグビー部に入っている15歳の少年。最後の試合を控え、チームメイト達と練習に熱が入る。あきらも彼らと共に走り、ぶつかり、最後の試合を終えるはずだった。しかし、あきはある病気に襲われる。恐怖と絶望の淵に立たされたあきらの運命とは。3年A組が紡ぐ、命と友情の物語。

3年B組 「もう一人のピノキオ」 (辰島幸夫/作 小峰書店)

何か一つ良い事をすれば長生きできるが、何か一つ悪い事をしたら二十四時間だけ、という命が与えられたピノキオ。善悪の判らないピノキオは良い事をしては悪い事をする。その「プラスマイナス＝ゼロ」を繰り返し、一日はもうすぐ終わる。はたして、ピノキオは長生きできるのか。何が善で何が悪かという奥深く複雑な問題に3年B組が挑みます。

## ☆展示見学(12:10～12:30)

### <展示作品>

- ・こだま学級A・B 授業・交流会で作った作品
- ・理科 1,2,3年 自由研究コンクール
- ・英語 3年 My school trip
- ・美術科 1,2,3年 絵画・工芸
- ・家庭科 1年 デイリーバッグ・花布巾
- 2年 トートバッグ ・花布巾
- 3年 わたしの成長 ・幼児のザ・ブートン ・保育園訪問ワッペン
- ・人 権 ありがとうの手紙展
- ・福祉・給食委員会 ボランティア 写真展
- ・図書委員会 しおりコンクール



## ～昼食(12:30～13:30)～

### ◎PTAバザー(多目的ホール)

※12:40～13:20まで、校舎1階多目的ホールでPTAバザーを行っています。  
多数の方々のご来場をお待ちしております。釣り銭のいらぬようにご協力ください。

## ～ 午後の部 ～

### 【感謝状贈呈式】(13:30～)

西紀ライオンズクラブ 様  
中 井 章 博 様



### 【吹奏楽部演奏】(13:35～13:55)

Lemon	米津玄師 /作曲	宮川成治/編曲
ふるさと	youth case/作曲	郷間幹男/編曲
J-BEST～日本を勇気づける名曲たち～	郷間幹男 /編曲	
Paradise Has No Border	NARGO /作曲	宮川成治/編曲

### 【合唱コンクール】(14:05～)

	〔 曲 名 〕	〔作詞者/作曲者〕	〔指揮者〕	〔伴奏者〕
1年A組	マイ・バラード	松井 孝夫 作詞/作曲	田中 奈々恵	吉川 こころ
2年A組	輝くために	若松 歎 作詞/作曲	本田 創大	藤本 清楓
2年B組	時の旅人	深田じゅんこ 作詞 橋本 祥路 作曲	塚本 すみれ	林 胡世莉
3年B組	春に	谷川俊太郎 作詞 木下 牧子 作曲	尾崎 主俊	内藤 心深
3年A組	ほらね、	いとう けいし 作詞 まつした こう 作曲	和田 稜平	岸田 奈侑

### 【全校合唱】(14:40～)

COSMOS

ミマス 作詞・作曲 富澤 裕 編曲

指揮者 前田 愛里沙  
伴奏者 石田 千優

## ☆閉会式(15:00～)

成績発表

表彰

講評

閉会のことば

文化副委員長

学校長

学校長

生徒会副会長

山本 優真

細見 博文

細見 博文

和田 悠

